

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2027 8/1（土）よりクリエイタープラットフォーム「LIFE LOG BOX」にて 作品の世界公募を開始！

米国アカデミー賞®公認／ディズニープラスでの配信など、
次世代監督のキャリア発信が実現する映画祭へ

翌年のオスカーにつながるライブアクション、ノンフィクション、アニメーションのほか
東京都との Cinematic Tokyo 部門、若手対象の U-25、
短編小説・ショートドラマ企画など 8 部門／プロジェクトで募集

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（SSFF & ASIA）」は、2026 年 8 月 1 日（土）より、2027 年度の開催に向けたショートフィルム作品の募集を開始いたします。

URL: <https://app.lifelogbox.com/festival/shortshorts/>



（写真左）SSFF & ASIA 2026 アワードセレモニーでグランプリ＝ジョージ・ルーカスアワードを授与／（写真右）ジョージ・ルーカスアワードのトロフィーはガラスアーティスト野口真理さんの彫刻による砂時計がデザインされている。

目指せ ジョージ・ルーカス アワード（グランプリ）！

募集するのは、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネートにつながるライブアクション部門、ノンフィクション部門、アニメーション部門のほか、東京都と実施する Cinematic Tokyo 部門、25 歳以下の若手監督の才能を見出す U-25 プロジェクト、短編小説を募集する BOOK SHORTS アワード、日本直販プレゼンツ ショートドラマ企画コンテスト、BRANDED SHORTS 部門の全 8 部門／プロジェクト。＊BRANDED SHORTS は通年で作品募集

映画祭グランプリには、映画監督ジョージ・ルーカスの名を冠した世界初のアワードで、映画祭の 20 周年を記念して 2018 年に誕

生ジョージ・ルーカスアワードが贈られます。

公募は、ビジュアルボイスが運営するショートフィルムを中心にコンテンツ・データアセットマネジメントができる権利管理プラットフォーム「LIFE LOG BOX（ライフログボックス：LLB）」を通じて行われ、応募クリエイターには、プラットフォーム上で展開予定の NFT 投票やコンテンツ売買ができるマーケット参加が可能となるデジタルウォレットが自動的に付与されます。

SSFF & ASIA では、翌年のオスカー候補となる米国アカデミー賞公認であるステータスに加え、LLB 登録作品がディズニープラスで配信開始されるなど、映画祭と LLB をきっかけにクリエイターのキャリア形成へのステップが大きく踏み出されました。

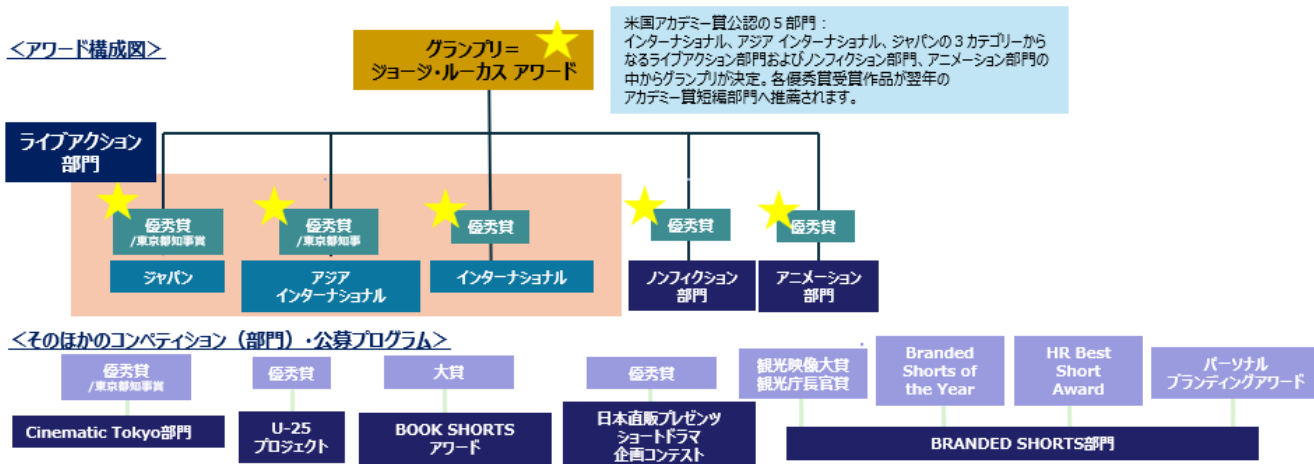
アカデミー賞公認の映画祭だからこそ実現する、クリエイターが映画・映像・動画界のスターダムの座をつかむプラットフォームとして 2027 年に向けて多くの才能と出会い、発信できることを期待しています。

SSFF & ASIA 2027 に向けた世界公募 URL <https://app.lifelogbox.com/festival/shortshorts/>

SHORTSHORTS

FILM FESTIVAL & ASIA 2027

＜アワード構成図＞



＜SSFF & ASIA 2027 募集要項＞

- 募集部門：ライブアクション部門（国際/アジア 国際/ジャパン）、ノンフィクション部門、アニメーション部門、Cinematic Tokyo 部門、U-25 プロジェクト、BRANDED SHORTS、BOOK SHORTS アワード、日本直販プレゼンツ ショートドラマ企画コンテスト

- 募集期間：2026 年 8 月 1 日（土）14：00 より開始

※応募締切は各部門によって異なります。

- 応募方法・応募に関する詳細：SSFF & ASIA 2027 作品募集ページを参照ください。

<https://app.lifelogbox.com/festival/shortshorts/>

- 発表方法：ライブアクション部門、ノンフィクション部門、アニメーション部門入選候補作（ショートリスト）は各応募月の翌々月末にウェブサイト上发表。入選候補作品の中から、最終入選作品が選ばれます。最終入選作品（映画祭で上映される作品）は 2027 年 4 月末までにウェブサイト上发表。

※BRANDED SHORTS は発表タイミングが異なります。

■応募に関する問い合わせ先：submission@shortshorts.org

*米国アカデミー協会による規定の改定により選考基準に変更が生じる可能性があります。

【LIFE LOG BOX】



国内外 10 万人以上のクリエイターとのネットワークを持つ SSFF & ASIA と連動した、スマートフォンや SNS、動画配信サービスなどの充実により、誰もがクリエイターとしてコンテンツを創作し発信できる WEB3.0 時代のコンテンツデータ運用プラットフォームです。データを預けストレージサービスを軸にクリエイターが活躍できるサービスを展開しています。世界中のクリエイターやファン、企業にクリエイター情報、作品情報を発信するポートフォリオや視聴権などを出品でき、クリエイターに利益を還元する NFT マーケットプレイスに預けたデータが繋がります。

<https://lifelogbox.com/ja/>

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】



米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの想いから 1999 年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001 年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、世界のショートフィルムの祭典へと発展。2004 年には米国アカデミー賞公認映画祭に認定され、同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生しました。現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

また、2018 年には映画祭 20 周年を記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となり、翌 1 月には、20 周年記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」も開催しました。

2019 年の映画祭からは、アカデミー賞推薦枠がインターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門およびノンフィクション部門の各優秀賞 4 作品へと拡大し、2022 年からはアニメーション部門の優秀賞を含む 5 作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIA は映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 press@shortshorts.org

画像のダウンロード：

<https://drive.google.com/drive/folders/19Nln8GPKvJ63geJIQIk8Er9CW5Ma9GFQ?usp=sharing>